

なつやすみに「はなび」をしたよ

夏休みに「花火」をしたよ。

どっちがよい子？おひさまマークの子かな？お月さまマークの子かな？

(子どもたちの反応を待ちましょう)

では、おひさまマークの子と、お月さまマークの子、どこが違うかくらべてみよう。(子どもたちが違いを見つけるのを待ちましょう)

●おひさまマークの子は、おとなの人といっしょに花火をしているね。花火は火を使うから、とてもあぶないんだ。かならずおとなの人といっしょにしようね。おや、お月さまマークの子は子どもたちだけで花火をしているよ。これはどうかな？そうだね、あぶないね。

●おひさまマークの子は火のついた方を下に向けているね。お月さまマークの子はどうか？火のついた方を上に向けているね。どっちがよい子かな？そうだね、火のついた方を上に向けると、火が顔や頭に落ちてきてやけどしちゃうね。花火は上に向けたり人に向けたりしてはだめだよ。ちゃんと下に向けておこうね。

●下に向けることはわかったね。ではその花火の火はどうなるかな？そうだね、火は地面に落ちるね。でももしそこにみんなの足があったらどうなると思う？(観客の反応を待ちましょう)そうだね、みんなの足に花火の火が落ちてやけどをしてしまうね。花火をするときはビーチサンダルや、足の甲のところに穴のあいたサンダルではなく、足をしっかりおおうスニーカーをはこうね。お月さまマークの右側の子の足を見てごらん。ビーチサンダルをはいているね。これはあぶないね。

●あとはどこが違うかな？おひさまマークの子は水の入ったバケツをそばに置いているね。これはどうしてだろう？そうだね。もし花火の火が身体についたり、近くにあるものに燃え移ったりしたときすぐに火を消すためにバケツが置いてあるんだね。花火をするときはかならず近くに水をおいておこうね。

かみしばいを演じる方へ

「花火」

①子どもたち自身に両者の違いを見つけてもらうようにしましょう。おひさまマーク、お月さまマークの札を作って子どもたちに持たせ、「よいこ」と思う方の札を上げてもらおう等の工夫をすると楽しく学べます。

②この絵のポイント
は、

「おとなの人といっしょに花火をする」

「火のついた方を下に向ける」

「足の甲をおおうくつをはく」

「近くに水の入ったバケツを置く」

です。子どもたちがこれらのポイントに気づくよう、ヒントを与えてあげてください。気づかない場合は教えてあげてください。

③このほかにも子どもたちが大事なポイントを見つけ出さずともいけません。そうしたらぜひほめてあげてください。